1 主題 人間としての生き方についての考えを深める 内容項目C- (10) 遵法精神, 公徳心

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目C- (10) は、「法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方を追求する」ことをねらいとしている。

人間が集まって社会を形成すると、一人一人の利害がぶつかることがある。そのような場面で集団に秩序を与え、摩擦を最小限に抑えることが、法やきまりの意義の1つである。また、法やきまりは「個人の自由が制限されるが、仕方なく従うもの」ではなく、「一人一人の自由を保障するために、進んで守るもの」である。合意形成の際には、他者の権利を尊重することが、お互いの調和を保ち、より良い社会の形成につながっていくということに気付かせていきたい。そして、集団や社会の中で、自分自身がどんなことを大切にすべきかを追求する姿勢を育みたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態 アンケート 2年1組 (男子19名 女子15名 計34名) 1月21日実施

	そう思う (人)	どちらか という とそう 思う(人)	どちらか という とそう 思わ ない(人)	そう 思わ ない (人)
①きまりを守ろうと努力している。	25	9	0	0
②きまりを守ることが、より良い集団生活につながると思う。	20	12	2	0
③話し合いの中で、進んで自分の意見をしっかりと述べることができる。	10	11	6	7
④話し合いの中で、他の人の意見も積極的に聞くようにしている。	15	10	6	3
⑤話し合いの中で、誰か1人の意見がグループや学級の意見になることが多い。	10	15	5	4
⑥多数決を行った後も、少なかった方の意見を聞くようにしている。	8	7	15	4

本学級の生徒は、部活動の部長や副部長、来年度の委員会活動の常任委員長など、集団の中心となり、話し合いの中で自分の意見や考えをしっかりと発言できる生徒が多い。しかし、発言力の強い生徒の意見がそのまま全体の意見となってしまうたり、話し合いの中で自分の意見を押し通そうとしたりする場面も見られる。

アンケートの結果からは、話し合いの中で、「他の人の意見も積極的に聞く」生徒が多く、全員の意見を聞こうとする姿勢は見られる。一方で、特定の生徒の意見がそのまま採用され、多数決で決まった際には少数意見を聞かずに終わってしまうことが多いことが分かった。

(3) 資料について 資料名『民主主義と多数決の近くて遠い関係』

「クラスの課外活動で『ガリバー旅行記』と『不思議の国のアリス』のどちらの劇を見るか」という話し合いを例に挙げ、民主主義や多数決について改めて考えさせる教材である。単純な多数決の結果で決まった「好きな案」と、人数の内訳と理由を合わせた結果で決まった「みんなにとって望ましい案」を比較することで、少数意見を尊重した上で決めた「みんなにとって望ましい案」が最善の案であることに気付く生徒が多いだろう。一方で、「みんなにとって望ましい案」を決めることの難しさや大変さに気付く生徒もいるかもしれない。民主主義では、単なる多数決で物事を決めるのではなく、少数意見を尊重することが重要である。社会や集団の中で、時には自己を抑制し、他者の意見を尊重しながら、よりよい答えを導き出していこうとする心情を育んでいきたい。

3 本時の展開

(1) 目標

- ・ 集団や社会の中で、合意形成する際に大切にすべきことについて考え、他者の意見に耳を傾け、民主主義の考えのもとで少数意見を尊重しようとする精神を育む。

(2) 準備・資料

読み物資料『民主主義と多数決の近くて遠い関係』，ポートフォリオ(道徳ノート)

(3) 展開 話し合い活動

学習活動・内容	予想される生徒の反応	指導上の留意点・評価(○)
<p>1 身近な事例から考える。</p> <p>(1) 学級で何かを決めるときに、どんな方法を使っているか考える。</p> <p>2 教師による資料を範読を聞き、自分の考えをポートフォリオへ記入する。</p> <p>(1) 『不思議の国のアリス』がみんなにとって望ましいと考えられるのはなぜか？</p> <p>(2) 「好きな案」と「みんなにとって望ましい案」の違いはなにか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多数決を使っている。 ・ 多い意見を採用するのが普通だと思う。 ・ 「すごく残念だ」と思う人がいないから。 ・ クラス全体の満足度が高くなるから。 ・ 個人の意見か、全体の意見かという違いがある。 ・ 多数決の結果を判断しているか、内容を考えてどちらが良いかを判断しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭や体育祭などの学校行事を例に挙げ、身近な話題として考えられるようにする。 ・ 理由を考えたり、多数決以外にどんな方法があるのかを考えたりする活動を通して、本時の学習へ繋げる。 ・ 読み物資料の例示を整理しながら『不思議の国のアリス』が「みんなにとって望ましい案」であることに気付くことができるよう助言する。 ・ 考えがまとまらない生徒に対しては、2つの案を比較したり、1つの案を単独で考えたりするよう助言する。 ・ 直近の話し合いの決定事項を振り返り、「好きな案」と「望ましい案」どちらになっているかを考えるよう促す。
<p>3 集団の中で何かを決めようとするときに大切なことは何かを考え、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多数決ではなく、少数の意見もしっかりと聞いて決めること。 ・ 話し合いに時間をかけること。 	<p>○集団や社会の中で、少数意見を尊重することの大切さに気付くことができている。</p> <p>(観察・ポートフォリオ)</p>
<p>4 学習のまとめを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達同士で意見交換をすることで、自分の考えを深めることができるよう支援する。
<p>5 教師の説話を聞く。</p>		